

## 令和4年度杉並区みどりの実態調査（第11回）結果の報告について

杉並区みどりの条例 第7条に基づき区内全域のみどりの実態を把握するため、令和4年度に杉並区みどりの実態調査を実施しましたので、その結果を報告します。なお、本調査は昭和47年から5年ごとに実施しており、令和4年度調査で11回目となります。

### 1 調査の方法

前回(平成29年度調査)同様、デジタル航空カメラによって撮影した写真の画像処理から緑被、樹林、屋上緑化を抽出し集計する一方、樹木、接道部緑化等は現地調査も併せて行い現状を把握しました。

### 2 調査対象地域

杉並区全域 3,406ha

### 3 調査期間

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで（航空写真撮影：令和4年6月19日）

### 4 主な調査結果の概要（別紙概要版参照）

項目	調査結果（前回調査との比較）
緑被率	21.99%（+0.22ポイント）
接道部緑化率	22.68%（▲1.93ポイント）
樹木	666本（▲76本）
樹林	箇所数 503箇所（▲131箇所） 面積 128.34ha（▲18.90ha）
屋上緑化	86,295㎡（+9,655㎡）
みどり率	23.17%（+0.31ポイント）

### 5 杉並区みどりの基本計画における目標数値との比較

項目	今回調査 (R4年度)	計画目標 (R14年)
緑被率	21.99%（+0.22ポイント）	25%
接道部緑化率	22.68%（▲1.93ポイント）	30%

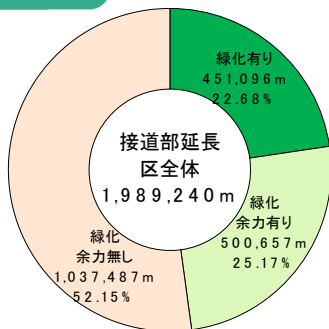
### 6 今後のスケジュール（予定）

令和5年7月 広報すぎなみ（7月1日号）及び区公式HPに掲載  
令和5年8月以降 みどりの新聞（みどりとひと）に掲載  
環境清掃審議会へ報告

## 接道部緑化率

平成29年度 **24.61%** 減 ↓ **令和4年度 22.68%**

接道部緑化率とは、道路に接する敷地部分（接道部）に占める生垣・植込み等、「緑化有り」の割合です。「緑化余力有り」はブロック塀から生垣にするなど将来的に緑化が可能なおととしてしています。住宅の建替え等に伴う敷地分割によって、出入口や駐車場の総数及び延長が増え、緑化余地が少なくなったことで接道部緑化率が減少しました。



緑化状況の構成比

## 樹木

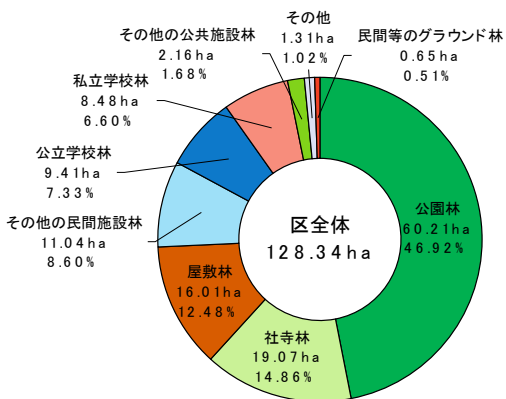
平成29年度 **742本** 減 ↓ **令和4年度 666本**

区内全域の直径90cm以上の樹木を調査しました。

## 樹林

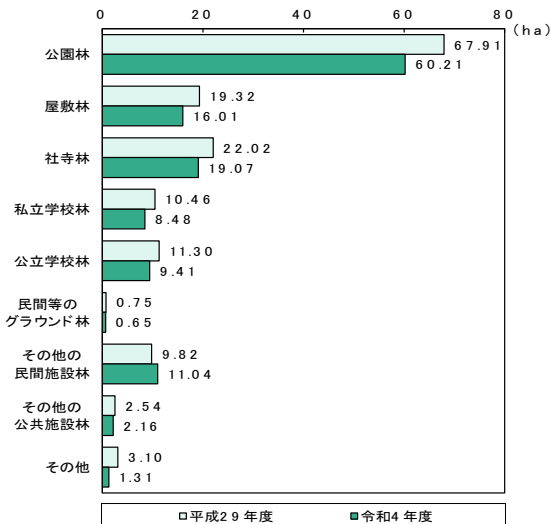
箇所 **平成29年度 634箇所** 減 ↓ **令和4年度 503箇所**

樹木でまとまりのある300㎡以上の土地を樹林として、調査を行いました。その他の民間施設林が増加する一方、約半分を占める公園林のほか、屋敷林、社寺林が減少しました。



形態別樹林面積の構成比

面積 **平成29年度 147.24ha** 減 ↓ **令和4年度 128.34ha**



形態別樹林面積の比較

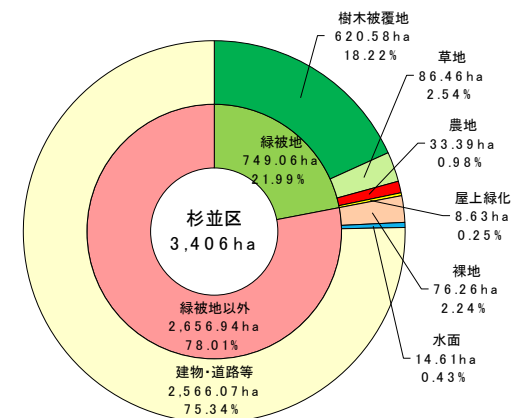
# 令和4年度 杉並区みどりの実態調査 概要版

## 緑被率

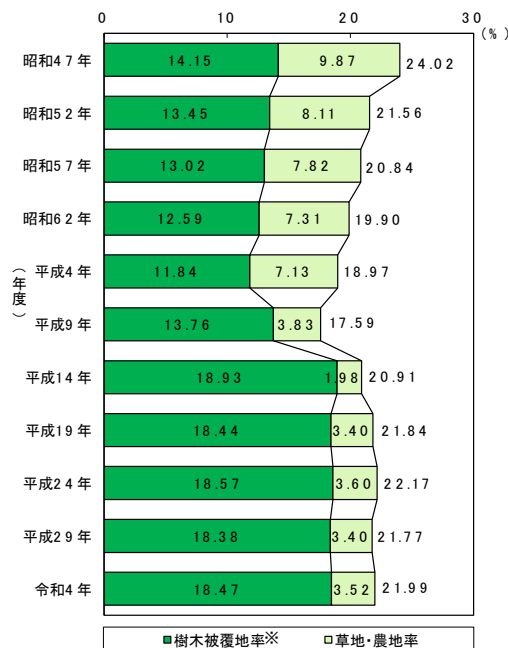
緑被率 **平成29年度 21.77%** 増 ↑ **令和4年度 21.99%**

緑被地面積 **平成29年度 741.54ha** 増 ↑ **令和4年度 749.06ha**

緑被率とは、樹木、草地、農地、屋上緑化で覆われた緑被地が区域面積に占める割合です。農地以外の緑被地が増加し、緑被率は平成29年度から増加しました。



緑被地等の構成比



※本図の樹木被覆率には、屋上緑化率が含まれています。

緑被率の経年変化

## みどり率

平成29年度 **22.86%** 増 ↑ **令和4年度 23.17%**

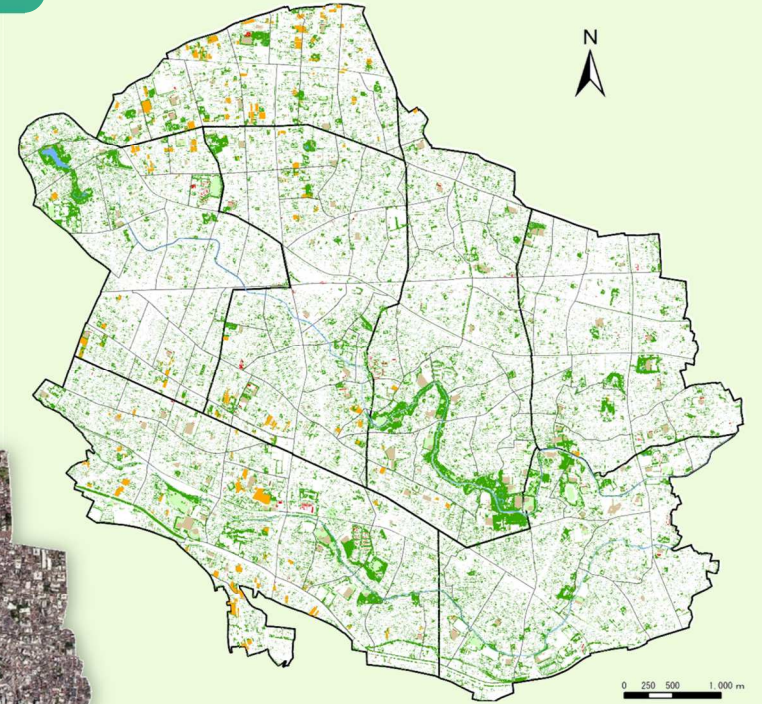
みどり率とは、緑被地に緑で覆われていない公園と河川等の水面を加えた面積が、区域面積に占める割合です。

## 屋上緑化

平成29年度 **76,640㎡** 増 ↑ **令和4年度 86,295㎡**

建築物の屋上等に植栽されている屋上緑化を緑被地データから抽出しました。

# 空から見た杉並のみどり



緑被分布図

<令和4年6月19日撮影>